

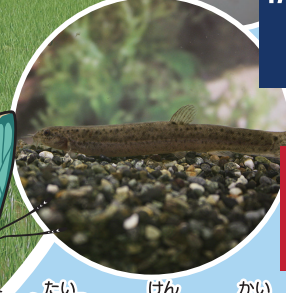
里山の生きものをつかまえてみよう!

参加者  
募集中

定員各回25名



こんな生きものが  
みられるかも…



里山の

# エコネット 生きもの調査体験会

主催：吉見町・荒川流域エコネット地域づくり推進協議会

里山の田んぼや森や川は、魚やカエルや虫など多くの生きものすみかにもなっています。  
生きもの観察で、地域の自然の豊かさやつながりについて、楽しく学びましょう!

R6 6月30日(日)

午前部 9:30~11:30 / 午後部 13:30~15:30  
集合場所：吉見町 八丁湖公園 駐車場



**プログラム(予定)**

- ◎田んぼの生きもの調査体験
- ◎エコネット環境学習
- ◎八丁湖の生きもの観察(昆虫等)
- ◎思い出づくり(工作)

調査体験ではみんなで生きものをもって名前をしらべます(野外活動です)

内容は小学生向けです

**●申し込み前にご確認ください●**

- ◎どなたでも参加可能(定員各回25名/先着順/無料)ですが、小学生以下は必ず保護者の方とお越しください。
- ◎小雨の場合は内容を縮小して実施します(かんたんな生きもの観察など)。荒天(大雨や暴風等)の場合は中止です。
- ◎生きものをとる道具はお貸しします。当日の持ち物などの詳細は、申し込み代表者の方へ、後日、お知らせします。

**申し込み方法** 無料/要申し込み/先着順 (定員になり次第、締め切らせていただきます)

QRコードまたはURLより申し込みください⇒ <https://forms.gle/ykX1vhrdUiPbKD1x8>

※申し込みページにアクセスできない場合、問合先まで電子メール(または電話)で、必要事項をお知らせください。

**【必要事項】** 希望時間(午前か午後)、人数(大人・子供)、代表者名、代表者連絡先(メールアドレスまたは電話番号)

※申し込み後、事務局から折り返し連絡(持ち物等)があります。(定員に達して受け付けできなかった場合、その旨を連絡します。)申し込みから3日以上連絡がない場合、送信エラーなどの可能性がありますので、電話でお問い合わせください。

問合先(事務局補助係)：株式会社建設環境研究所 (担当：佐野 090-5500-3387)  
電子メール：24-1372@kensetsukankyo.co.jp / TEL：03-3988-2632

※電話にはできないこともありますので、その場合、しばらくたってからかけ直してください。



# 「荒川流域エコネット地域づくり推進協議会」では



人と自然が安心して暮らしていける地域づくりに向けて、  
 (例えば、生きもの調査や環境学習の促進など、)  
 地域関係者が連携して、  
 エコロジカル・ネットワーク形成の取り組みを進めています



### 荒川流域エコネット形成による

荒川やその周辺地域において  
 さまざまな生きものの生息環境を  
 守り・育み・つなげます

### 豊かな地域づくりを目指して

コウノトリなど多様な生物のすむ  
 自然豊かな環境づくりは  
 安心して暮らせる未来につながります

### 地域が連携・協力しています

荒川流域の地域関係者が  
 協議会において連携を図りながら  
 取り組みを進めています

(研究者、市民団体、県市町、国)

取り組みの実現には、「この空にコウノトリを羽ばたかせよう」と考え・行動する、多くの人の参加・協力が必要です。  
 そこで、地域関係者が主体的に実施できること、また連携・協力することでさらなる効果が期待できることを、  
 「荒川流域エコネット地域づくり アクションプラン (令和3年3月)」にとりまとめました。  
 現在、このプランに関連する各種の対策・検討を、地域関係者が連携・協力しながら進めています。

## 荒川流域エコネット地域づくり アクションプラン

|                                   |                                   |                |                 |                 |
|-----------------------------------|-----------------------------------|----------------|-----------------|-----------------|
| <b>生物の<br/>生息環境保全<br/>に関するプラン</b> | ① 合同生きもの調査の実施                     | ② ゴミ・外来種問題への対応 | ③ 環境学習・観察会の推進支援 |                 |
|                                   | <b>地域振興<br/>経済活性化<br/>に関するプラン</b> | ④ 各種広報の展開      | ⑤ エコツアーの推進支援    | ⑥ 関係者間のネットワーク支援 |

- Q 荒川流域エリアにおける「エコロジカル・ネットワーク形成」とは…?**
- 私たち人間は、河川から食料や水の供給を受けたり、森林による気候調節によって守られたりと、自然からさまざまな恵み(生態系サービス)を受けて生活しています。この日々の豊かさや安全な暮らしに欠かせない生態系サービスを支えているのが「生物多様性」です。
  - 生物多様性を守るには、広く、さまざまな場所で、自然環境を保全・再生していく必要があります。これを効果的に進めていくために、いまある自然拠点をつなげる「エコロジカル・ネットワーク」の考え方が重要です。自然拠点のつながりを強くするには、拠点をむすぶだけでなく、拠点を大きくしたり、たくさんつくるのが有効で、そのためには多くの人の力が必要です。
  - 荒川流域エリアの自然拠点は、河川・水路・水田・森林・公園など多種多様で、関わる人もさまざまです。そこで、自然のつながりを強くする「エコロジカル・ネットワーク形成」に向けて、エリア内の多様な地域関係者が連携・協力して取り組んでいるのです。

